

第1回渡良瀬遊水地湿地保全・再生モニタリング委員会指摘事項概要

日時 平成22年10月25日(月) 13:00～15:00

場所 渡良瀬遊水池出張所4F

議事	No.	委員会指摘事項 内容	対応案(回答)
5. 委員会規約について	1	- 今回の事業は再生に重きをおいたようになっているが、現在ある良好な湿地の保全、また再生後の維持・管理についても委員会の重要なテーマにしてもらいたい。 - 生物多様性こそが重要である。日本全国あるいは世界的にみても価値が高い渡良瀬遊水地の生物多様性を保全あるいは高めていくことが重要。	- 湿地の保全、維持管理については今後の委員会の中で別途ご相談しながら進めていきたい - 湿地の保全・再生、多様性をどう高めていくかについて、保全を中心にして、現在の問題を解決して、より良いものにしていくことが最終的な趣旨である。
	2	第2調節池だけにとどまらず、このような事業は渡良瀬遊水地全体に広げることが必要だと考えている。	第2調節池で行っていることが今後全体に波及していくものと考えられる。
	3	- 水位、水質、地下水は、第2調節池の外側も視野に入れモニタリング調査を広いエリアでやる必要がある。 - 掘削後は、土壌水分の蒸発散が変わってくるので、土壌の水の動きまでモニタリングする必要がある。	観測網等で不足の部分があれば、ご相談させて頂きたい。
6. モニタリング計画(案)について	4	- シギ、チドリなどは植物がない場所が生息環境になる。鳥の再生目標としては、シギ・チドリ類も重要な要素として入っていると思う。 - 内陸湿地としての渡良瀬遊水地は旅鳥の休憩地としての役割を果たすようなことを考えていかなければならない。	- 試験施工段階のモニタリングにおいて、シギ、チドリについても着目する。 - ただし、限られた調査では十分な把握ができない可能性があるため、可能な範囲で委員の先生方やNPOなどと協力していく。
	5	- 湿地の再生には、人為的に攪乱を起こすなど、河川の代替行為を行うことも考えられるのではないかな。 - 昆虫についても“攪乱”が重要、攪乱の代替として谷中湖の水を一部流すことが出来ないかな。	- 親委員会でも攪乱は重要な話題となり、水田のように機械を使う案もあった。 - 谷中湖の利用は困難だが、今後の検討の中で維持管理としての攪乱について考えていきたい。
	6	- 動物調査の調査項目に目視観察だけでなく、糞、足跡などのフィールドサイン調査も入れるといい。 - 昆虫についても定量的な調査が可能であれば追加してもらいたい、また外来種のスジハサミムシモドキが増えているため調査項目に加えてもらいたい。	ご指摘いただいたところで、調査にはできるものを入れていきたいと考えている。予算的な問題で追加できないこともある。場合によってはNPOなどの協力も必要になるかもしれないと考えている。
	7	多様な地形が再生できれば、多様な植生が再生でき、多様な動物が生息できるため、最初の地形の条件が十分に検討していかなければならない。	既存実験地での、地形条件、既存水面との連続性等について様々なケースの施工結果を整理し、今後の掘削に生かす。
	8	地下水にとっては地質構造が重要である。	過去にボーリング調査を行ったデータがあるため、守田委員にお示しする。
	9	- 掘削した場所では地下水が低下し周りの水が引かれている状態だと思う、保全エリアではより乾燥化が進むということではないかな。 - 地下水の低下は掘削深や掘削後の水面からの蒸散も考慮して水収支を検討するべきである。	- 今後の施工では、これまでの知見を踏まえた上で出来るだけ地下水が流れ出ないような形状を詰めていきたい。 - 地下水・水収支の考え方については、過年度に検討した内容をもとに、守田委員と相談させていただく。
7. 環境調査の現況報告について	10	- この事業の前後で生態系がどう変わったかをきちんとモニタリングする必要がある。 - 掘削前に植生も含めてモニタリングし、掘削地の隣に参考になるもとの状況を残して比較する形で進めているのか。	- 掘削前の地下水、植生については調査を実施しており、それらが掘削後にどのように変化するかという予測に基づきモニタリング調査を実施していく。 - 掘削前の土壌物質の調査等には調査不足な面もあるので、今後はそういうところを含めて補足したい。
	11	過去の掘削で、段差を作った実験は地表面の年代が異なることが考えられることから面白い実験だと思う。実際に渡良瀬遊水地内では1箇所しか確認されていなかったマルバノサワトウガラスが確認された。そういった結果をきちんと記録してもらいたい。	ご指摘の通り対応する。
	12	これまで調査した結果を論文などの形で発表していくことが望ましいのではないかな。	今後、委員の先生等と相談しながら検討していく。